



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月8日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
コード番号 4960 URL <https://www.chemipro.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼俊 寿志
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 徳地 昭博 TEL 078 (393) 2524
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,071	16.5	179	△14.9	47	△37.8	38	△45.1
2024年3月期中間期	4,353	△17.8	211	△38.0	76	△63.6	69	△49.9

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	2.38	—
2024年3月期中間期	4.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	13,383	4,698	35.1	290.59
2024年3月期	13,713	4,679	34.1	293.03

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,698百万円 2024年3月期 4,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	6.1	480	△0.5	200	50.5	140	11.0	8.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	16,623,613株	2024年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	453,496株	2024年3月期	653,969株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	15,984,742株	2024年3月期中間期	16,135,944株

- (注) 1. 期末自己株式には、信託が保有する当社株式（2025年3月期中間期453,427株）を加算しております。
2. 期中平均株式数（中間期）は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式（2025年3月期中間期638,802株）を控除して算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における経済情勢は、欧州及び中国経済の停滞が依然として続き、米国経済にも緩やかな減速感が出始めており、加えて更なる地政学的リスクの高まりもあるなど、全体として引き続き不安定な状況で推移しました。

このような経済環境の中で、当社の属するファインケミカル業界につきましては、需要は昨年度後半と同水準の状況が続きましたが、原材料価格やエネルギーコストは高い水準が続いており、依然として厳しい状況で推移しました。一方、当社においては、昨年度前半に大きく落ち込んだ売上の反転や一部製品について需要回復の動きがあり売上は増加しましたが、利益面では引き続き厳しい環境下にあります。

具体的な当中間会計期間における当社の売上高は、化学品事業では、昨年度、グローバルマーケットにおける在庫調整により低調な水準であった紫外線吸収剤が大幅に増収となったほか、酸化防止剤の販売拡大をはじめ、その他製品分野での回復もあり、受託製造製品の減収をカバーし増収となりました。ホーム産業事業では、消費マインド低迷により特に木材保存薬剤の販売が振るわず、減収となりました。これらにより売上高全体では、前年同期比718百万円増の5,071百万円(前年同期比16.5%増)で着地いたしました。利益面では、昨今の各種コストの高騰に対応するため、価格転嫁の取り組みを推し進めたものの、原材料をはじめとする全てのコスト高騰を吸収するには至らず、営業利益は179百万円(同14.9%減)となりました。経常利益は営業外費用として生産休止費用を107百万円計上し47百万円(同37.8%減)、税引前中間純利益については、特別損益の計上がなかったことから経常利益と同額の47百万円(同54.4%減)となりました。中間純利益については、法人税、住民税及び事業税が21百万円、法人税等調整額が△12百万円となり38百万円(同45.1%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当中間会計期間の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が前年同期比456百万円増の2,607百万円(前年同期比21.2%増)となった他、酸化防止剤が同245百万円増の509百万円(同92.8%増)、製紙用薬剤が同70百万円増の148百万円(同90.3%増)、写真薬中間体が同23百万円増の124百万円(同22.7%増)となる一方で、受託製造製品が同60百万円減の1,083百万円(同5.3%減)、電子材料が同5百万円減の18百万円(同24.0%減)となり、全体では同727百万円増の4,523百万円(同19.2%増)となりました。

(ホーム産業事業)

当中間会計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上高が前年同期比12百万円減の424百万円(前年同期比2.8%減)となる一方で、その他が同3百万円増の123百万円(同2.7%増)となり、全体では同8百万円減の548百万円(同1.6%減)となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円、%)

セグメント別	期別 区分	前中間会計期間 2024年3月期		当中間会計期間 2025年3月期		増減 金額
		金額	構成比	金額	構成比	
化学品事業	紫外線吸収剤	2,150,539	49.4	2,607,015	51.4	456,476
	写真薬中間体	101,400	2.3	124,464	2.5	23,064
	製紙用薬剤	77,886	1.8	148,232	2.9	70,345
	酸化防止剤	264,528	6.1	509,879	10.1	245,350
	電子材料	24,836	0.6	18,863	0.4	△5,972
	受託製造製品	1,143,859	26.3	1,083,426	21.4	△60,432
	その他	32,780	0.8	31,509	0.6	△1,270
(小計)	3,795,830	87.2	4,523,391	89.2	727,560	
ホーム産業事業	木材保存薬剤	436,749	10.0	424,670	8.4	△12,078
	その他	120,688	2.8	123,891	2.4	3,203
(小計)	557,437	12.8	548,562	10.8	△8,875	
合計		4,353,268	100.0	5,071,953	100.0	718,685

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末(以下「前期末」という。)比330百万円減少し、13,383百万円となりました。流動資産は同268百万円減の8,107百万円、固定資産は同61百万円減の5,275百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が318百万円、商品及び製品が260百万円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が152百万円、原材料及び貯蔵品が209百万円それぞれ増加したことなどによるものであり、固定資産の減少の主な要因は、建物(純額)が33百万円、有形固定資産のその他(純額)が55百万円それぞれ減少した一方で、投資その他の資産のその他が53百万円増加したことなどによるものであります。

当中間会計期間末の負債は、前期末比349百万円減少し、8,684百万円となりました。流動負債は同237百万円増の6,435百万円、固定負債は同587百万円減の2,249百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が344百万円、電子記録債務が197百万円それぞれ増加した一方で、短期借入金が136百万円、1年内返済予定の長期借入金が116百万円それぞれ減少したことなどによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が413百万円、その他の固定負債が111百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

当中間会計期間末の純資産は、前期末比19百万円増加し4,698百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、中間純利益を38百万円計上した一方で、配当金の支払49百万円があったこと、自己株式が49百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は35.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

地政学的リスクの長期化が払拭できない状況のなか、世界経済は、欧州及び中国経済の停滞が依然として続き、米国経済も緩やかな減速感が出ております。また、わが国においては、市況の急激な回復が見込めない中、為替や物価等の動向が不透明であり、全体として不安定な状況が続くと思われまます。

このような中、当中間会計期間の業績は、2024年5月10日発表の通期業績予想に対して、売上面では大きく乖離することなく推移しており、今後も売上高については、概ね現時点の進捗から大きな変動はないものと見込んでおります。利益面では、事業年度を通して段階的に価格転嫁が浸透していくことを前提としており、今後改善する見込みではありますが、一層のコスト高が懸念されることも含めて利益計画達成については、予断を許さない状況が続くと考えております。

これらを踏まえ、現段階では通期業績予想の修正はいたしません。引き続き慎重に業績の進捗を判断し、適時に見直して参る計画であります。業績予想の修正を決定した場合には速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,882,862	2,035,117
受取手形及び売掛金	2,292,313	1,974,222
電子記録債権	94,723	54,888
商品及び製品	2,973,597	2,713,140
仕掛品	99,995	126,611
原材料及び貯蔵品	442,198	652,156
その他	595,690	556,360
貸倒引当金	△4,689	△4,587
流動資産合計	8,376,693	8,107,909
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	941,635	908,104
土地	2,861,042	2,861,042
その他(純額)	1,130,610	1,075,216
有形固定資産合計	4,933,288	4,844,363
無形固定資産	9,308	9,066
投資その他の資産		
投資有価証券	253,990	227,938
その他	155,145	208,576
貸倒引当金	△14,544	△14,364
投資その他の資産合計	394,591	422,150
固定資産合計	5,337,188	5,275,581
資産合計	13,713,882	13,383,491

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	744,731	1,088,992
電子記録債務	404,960	602,419
短期借入金	2,850,000	2,714,000
1年内返済予定の長期借入金	1,030,000	913,750
未払法人税等	46,348	38,399
賞与引当金	96,456	95,757
その他	1,025,041	981,725
流動負債合計	6,197,538	6,435,045
固定負債		
長期借入金	1,827,500	1,413,750
退職給付引当金	576,212	558,217
役員株式給付引当金	45,523	—
従業員株式給付引当金	—	2,053
その他	387,506	275,613
固定負債合計	2,836,742	2,249,633
負債合計	9,034,281	8,684,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,060,713	1,060,713
利益剰余金	1,517,732	1,505,978
自己株式	△205,013	△155,414
株主資本合計	4,528,784	4,566,630
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150,816	132,182
評価・換算差額等合計	150,816	132,182
純資産合計	4,679,600	4,698,812
負債純資産合計	13,713,882	13,383,491

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,353,268	5,071,953
売上原価	3,632,327	4,352,971
売上総利益	720,941	718,982
販売費及び一般管理費	509,543	539,015
営業利益	211,397	179,967
営業外収益		
受取利息	1	49
受取配当金	3,226	4,339
受取賃貸料	3,600	3,600
為替差益	—	4,592
その他	3,806	3,317
営業外収益合計	10,634	15,899
営業外費用		
支払利息	34,200	35,093
生産休止費用	104,651	107,342
賃貸収入原価	229	229
その他	6,151	5,444
営業外費用合計	145,233	148,110
経常利益	76,798	47,757
特別利益		
保険解約返戻金	27,836	—
特別利益合計	27,836	—
税引前中間純利益	104,634	47,757
法人税、住民税及び事業税	62,959	21,973
法人税等調整額	△27,761	△12,333
法人税等合計	35,197	9,640
中間純利益	69,437	38,117

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	2,150,539	—	2,150,539
写真薬中間体	101,400	—	101,400
製紙用薬剤	77,886	—	77,886
酸化防止剤	264,528	—	264,528
電子材料	24,836	—	24,836
受託製造製品	1,143,859	—	1,143,859
木材保存薬剤	—	436,749	436,749
その他	32,780	120,688	153,469
顧客との契約から生じる 収益	3,795,830	557,437	4,353,268
外部顧客への売上高	3,795,830	557,437	4,353,268
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—
計	3,795,830	557,437	4,353,268
セグメント利益	394,191	31,837	426,029

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	426,029
全社費用(注)	△214,631
中間損益計算書の営業利益	211,397

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	2,607,015	—	2,607,015
写真薬中間体	124,464	—	124,464
製紙用薬剤	148,232	—	148,232
酸化防止剤	509,879	—	509,879
電子材料	18,863	—	18,863
受託製造製品	1,083,426	—	1,083,426
木材保存薬剤	—	424,670	424,670
その他	31,509	123,891	155,401
顧客との契約から生じる収益	4,523,391	548,562	5,071,953
外部顧客への売上高	4,523,391	548,562	5,071,953
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	4,523,391	548,562	5,071,953
セグメント利益	380,763	27,890	408,653

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	408,653
全社費用(注)	△228,685
中間損益計算書の営業利益	179,967

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。